

令和5年度笛吹市社会教育委員の会議兼公民館運営審議会
委嘱状交付式及び第1回会議 会議録

日 時：令和5年5月31日（水） 午後1時30分～午後3時30分

場 所：笛吹市役所市民窓口館 1階101会議室

出席者：◇社会教育委員（敬称略）

金子寛、坂野修一、須田徹、廣瀬志保、山口隆夫、内田勝也、加々美
恭子、金子津多恵、中楯文仁、石倉絹子、小林千澄、原百枝

◇教育委員会

望月教育長、太田教育部長、望月文化財課長、吉岡図書館長、石和図
書館担当小沢リーダー

◇事務局

荻原生涯学習課長、生涯学習担当 生原リーダー、海野、角田

欠席委員（敬称略）：田中真理、渡邊真史、中村拓

【進行：生涯学習課長】

次第1 開会のことば

次第2 委嘱状交付

次第3 教育長あいさつ

<教育長>

皆様、あらためましてこんにちは。本日は大変お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
皆様方には日頃から笛吹市の社会教育、生涯学習の充実に向け、お力添えをいただいておりますことに感謝を申し上げます。ただいま、委嘱状を交付させていただきました。15名の委員の皆様方は、それぞれの分野で幅広い知識と経験をお持ちの方ばかりです。本市の社会教育生涯学習振興のために、ご経験とお知恵をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。さて、今人生100年時代を迎えています。若者から高齢者に至るまで、全ての方が生涯にわたって学び続け、そして生きがいを持って人生を送る社会作りが必要となってきました。このような中、昨年度、諮問しました第三次笛吹市社会教育計画の立案につきまして度重なる御協議をいただき、本紙の社会教育を取り巻く現状や、課題を明らかにしていただく中で、学び合い、支え合い、高め合う地域力を基本理念としまして、目標や

取り組むべき政策と、笛吹市の社会教育振興のための計画案を答申していただき、策定しました。今後この計画に基づき、政策を展開していきます。5月8日にコロナウイルス感染症は、5類移行となりました。今後は社会教育活動もコロナ以前と同様に、行われるのではないかと期待をするところです。しかしながら、完全に収束したわけではございませんので、引き続き感染対策を講ずる中で、様々な活動や取り組みを行ってまいります。皆様方には、社会教育の円滑な推進のために、市民の代表としてのご助言やご提言など、ご指導ご支援を賜りますよう、改めてお願いを申し上げ、挨拶に代える次第です。2年間よろしくお願ひいたします。

次第4 委員自己紹介・職員紹介

次第5 会議録署名委員の指名について

議長選出まで議事進行を教育長が行い、教育長から笛吹市社会教育委員会議運営規則第2条第2項に基づき、加々美恭子氏が会議録署名委員に指名された。

次第6 (1)令和5年度役員選出について

笛吹市社会教育委員会議運営規則第2条で議長及び副議長は委員の互選によって定めると規定されていることから、委員の意見を求めたが、意見がなかったため事務局から議長に石倉絹子氏、副議長に加々美恭子氏を提案し、承認された。

議長、副議長以外の役員について、委員から意見を求めたが、意見がなかったため事務局から、山梨県社会教育委員連絡協議会代議員に一宮町の中楯文仁氏、石和町の加々美恭子氏。笛吹市男女共同参画推進委員会委員に境川町の小林千澄氏。明るい選挙推進委員に内田勝也氏、中村拓氏。笛吹市地域振興促進助成金審査員に加々美恭子氏を提案し承認された。

次第6 (2)令和5年度事業予定について

図書館から説明後、質疑応答を行い原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

< 委員 > 昨年度いくつか中止になったという説明があったが、コロナ禍は3年間あり、2年前や3年前の状況がわかれば教えてほしい。

<図書館担当> 3年前から、おはなし会が中止となったが、昨年度から人数制限をしながら各図書館や保育所で開催した。今年度からは土曜日に各図書館で、小学生向けのおはなし会が再開できるようになった。ぜひ学校でも、子供たちに声をかけていただき参加を促してもらいたい。

文化財課から説明後、質疑応答を行い、原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

<委員> ただいまの説明には直接関係ないが、文化財に関連して質問する。市の史跡の看板について、以前質問した時には、順次新しくしているとのことだったが、年間どのくらい変えているのか。

<文化財課長> 文化財の看板について、市内に指定文化財が現在 100 以上あり、順次更新をしている。少ない年は2、3か所で、多い年だと5、6か所程、更新している。劣化具合を見ながら予算の範囲で対応している。

<委員> 今年の春に小山城を訪れた際、看板がかなり前の表示だった。その他の史跡等の看板も古い表示や日に焼けて不鮮明であったりするので、国からの助成金等を活用して直すべきところはすぐに直してもらいたい。コロナ禍が過ぎたので観光客も増えてくると予想され、史跡巡りや文化財に対する意識も高まっているので、市として少し力を入れた方が良いと思う。

<委員> 小山城の話がでたので、関連して、私も小山城を訪れたが、非常に荒れていて、寂しい史跡になっていた。説明にあったように予算の制約や、史跡が数多くある中での優先順位付けなど課題も多々あるが、整備をお願いしたい。

<文化財課長> 今後も順次行っていく。また、小山城については、荒れていたためここ何年かかけて除伐を行い整える作業を順次行っており、引き続き実施して環境を整えていく。

事務局の生涯学習課からの説明後、質疑応答を行い、原案どおり進めることとした。

【質問意見等】

<委員> 市民講座について、スコレー大学と市民講座に名称を分けたのはなぜか。

<事務局> 市民講座は、1講座について多くても5回の実施だが、その中でもより深く学びたいというニーズを受け1年間を通じて学べるスコレー大学ができたという流れになっている。

<委員> スコレー大学という名前は石和町時代の市民講座の名称であったため、なぜ、市民講座とスコレー大学とに分けてしまったのか。長期に渡って学びたいということであれば市民講座の長期コースという形で設けてもいいのではないか。大学だからといって単位制にし、修了証の授与までは必要ないのではないか。長く市民講座を受講している人にとっては、スコレー大学との違いに納得がいかない。
また、今回はスコレー大学と市民講座の募集に関して、同じ場所に掲載があって分かりにくかったので改善を求める。

<生涯学習課長> 市民講座とスコレー大学の区分けについては、御意見を参考に今後検討する。
また、申込用紙が分かりにくいことについては、今後改善していく。

次第6(3)山梨県各協議会の報告について

事務局からの説明後、質疑応答を行ったが、質問等無かったため、報告内容について了解いただいた。

次第6(4)その他について

その他について質疑応答を行った。

【質問意見等】

<委員> 世間によくコミュニティスクールのお話を聞くが、笛吹市の考えと、我々委員も関わるのか分かる範囲で教えて

ほしい。

- <事務局> 学校運営協議会を設置した学校をコミュニティスクールとしており、本市では、今年度に富士見小学校で立ち上がっている。
- 学校運営協議会は学校関係者や保護者、地域住民などの委員で構成され、その協議会に社会教育委員の皆様が直接関わることはないが、本市では、学校運営協議会と連携して活動する地域学校協働本部の設置を検討しており、そのことに関して御意見をいただく機会がある。
- <教育長> 学校運営協議会は、地域の方々が学校運営に参画をしていく組織となっている。笛吹市の富士見小学校では、富士見の子供を考える会があり、区長や民生委員、育成会子供クラブなどが参加をしていただき学校運営等に関わっていただいている経緯がある。また、多くの学校でそういった組織体制があるので笛吹市とすれば、あえてそのような組織を作るまでもないのでと考えていたが、法律で努力義務に規定されたことから設置をしていく流れとなった。今年度、モデル校として富士見小学校に学校運営協議会を設置したので、今年度の状況を見ながら、その他の小中学校へ設置を進めていく。
- <委員> 文化財史跡等について映像記録を作っていただきたい。市として書籍や写真等様々な形で資料として残してあると思う。例えば、DVDで映像記録をつくれば、様々な場面で子供たちに見せたり、イベントの機会に地域の文化財や史跡を紹介することができると思う。
- また、各町文化祭会場の一角に、ディスプレイを置いて流すことで、市民の文化財に対する意識の高揚や訪れた他市の方に対する市のPRにもなると思う。課題もあるかと思うが、このような観点で資料作りをしてほしい。
- <文化財課長> 映像を残していくことは確かに大切なことで、今も、特に民俗芸能における後継者がいない状況であるため、関係者が取るようなビデオを始め、また専門家に撮っていただくという方法など、様々な方法で映像を記録として残したいと考えて

いる。動画は、なかなか難しいが、例えばパワーポイントと
いうことであれば、文化財課で年間に何本も作っており、現
在数十本のストックがあるので、お貸しすることも可能なの
で御相談いただきたいと思う。

また、国分寺については、整備に向けて動いているというこ
ともあり、機会あるごとにドローンを飛ばして、画像を残してい
る。また、小山城についても画像で撮るようにしているので資
料が完成したら紹介したい。

また、QR コードを用いてスマホで画像を見れるような工夫も
考えているため、いずれは紹介したい。

<委 員> QR コードについての説明があったが国分寺跡、国分寺尼寺跡
の看板に QR コードを用いて、スマホで映像を見れると良いと
思うが、そういったこともできるのか。

<文化財課長> 例えば、国分寺と尼寺については、整備に向けての委員会を
立ち上げて、PR方法も含め協議している。いわゆる AR とか
VR という技術についても協議している。いずれ協議後に国分
寺と尼寺のPR方法について紹介していく。
現在も国分寺跡の看板に QR コードを用いて、発掘調査を行っ
た当時の写真の画像を見ることができる。今後も引き続き、
QR コードに表示される内容の充実に取り組んでいく。

事務局から令和5年度の社会教育指導者研修会と社会教育施設改修予定につい
て報告し、質疑応答を行い報告事項について了解いただいた。

次第7 閉会のことば